

## 千田 眞喜子 専任教授

研 究 業 績

2024年6月11日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
論文（単）	「粉体固結物としてみた落雁の組織とその特性」、『同志社女子大学大学院家政学研究科 修士論文』、1～78頁	1985. 3
論文（単）	「環境水のイオン成分や微量金属の動態及び窒素汚染と除去に関する研究」、『三重大学大学院生物資源学研究科 博士学位論文』、1～187頁	2015. 9
論文（共）	「粉体固結物としてみた落雁の組織とその特性」、『同志社家政』第19巻、（林淳一）、56～65頁	1985. 12
論文（共）	「琵琶湖・淀川流域における硝酸態窒素移動の解析」（査読付）、『土木学会論文集B1（水工学）（土木学会）』第67巻4号、（六鹿章太、他1名）、I_1483～I_1488頁	2011. 2
論文（共）	「野菜ジュースの窒素汚染と次亜塩素酸ナトリウムによる除去について」（査読付）、『日本家政学会誌（日本家政学会）』第62巻3号、（他1名）、153～164頁	2011. 3
論文（共）	“Fluctuation of ion components, trace metals, and Pb/Zn ratio in precipitation at Tsu City”（査読付）、 <i>Journal of JSCE</i> , Vol. 2, (Tadashi Nishi, Naoko Takagi, Fuki Sugiyama and 他1名), pp. 249-268	2014. 10
論文（共）	“Water environments in the southern delta of Myanmar during the rainy season”（査読付）、 <i>Journal of JSCE</i> , Vol. 2, (Kay Thwe Hlaing, Kunihide Miyaoka, Shigeko Haruyama and 他1名), pp. 299-309	2014. 11
論文（共）	「AMeDASとd4PDFデータを用いた降水量の非定常性と極値に関する考察」（査読付）、『土木学会学論文集B1（水工学）（土木学会）』、第74巻4号、（他1名）、I_325～I_330頁	2018. 2
論文（共）	「大学生の自覚的健康度と食習慣の関連」（査読付）、『花園大学社会福祉学部研究紀要』、第26号、（他1名）、45～60頁	2018. 3
論文（共）	「裾の厚い分布とフラクタル理論を用いた水文データの解析」（査読付）、『土木学会学論文集B1（水工学）（土木学会）』、第74巻5号、（他1名）、I_217～I_222頁	2018. 11

論文（単）	「主成分分析による大学生の塩分摂取状況について」（査読付）、『花園大学社会福祉学部研究紀要』、第 27 号、19～26 頁	2019. 3
論文（共）	「降水貯留水の緊急生活用水への適応性検討（査読付）、『土木学会論文集 G(環境（土木学会）)』、第 75 巻 5 号、（他 1 名）、 I_165～I_176 頁	2019. 7
論文（共）	「相関係数マトリクスと主成分分析による水道水の硝酸態窒素濃度に対する気温・降水量・河川流量の影響」（査読付）、『土木学会論文集 G(環境)（土木学会）』、第 75 巻 5 号、（他 1 名）、 I-381～I-391 頁	2019. 7
論文（単）	「水質調査がもたらす水に関する意識変化の可視化—養護教諭を目指す大学生における検討—」（査読付）、『花園大学社会福祉学部研究紀要』、第 28 号、89～96 頁、	2020. 3
論文（単）	「対面授業からオンライン授業への変更における教員及び学生の対応」、『FIT2020（第 19 回情報科学技術フォーラム）講演論文集（電子情報通信学会、情報処理学会）』、第 4 分冊、23～28 頁	2020. 9
論文（共）	「倉橋惣三の幼児における環境活動」、『徳島科学史研究会、徳島科学史雑誌』、（笹谷絵里）、33～38 頁	2020. 12
論文（単）	「子ども用弁当の絵の食材から検討する栄養バランス」（査読付）、『花園大学社会福祉学部研究紀要』、第 29 号、23～34 頁	2021. 3
論文（単）	「新型コロナウイルス（COVID-19）禍におけるオンライン授業や実技を伴う対面授業の工夫—児童栄養学領域と環境学領域に着目して—」、『FIT2021（第 20 回情報科学技術フォーラム）講演論文集（電子情報通信学会、情報処理学会）』、Vol. 3、79～88 頁	2021. 8
論文（単）	「保育所及び児童養護施設等における避難訓練について」（査読付）、『花園大学社会福祉学部研究紀要』、第 30 号、57～67 頁	2021. 3
論文（単）	「LMS の小テスト機能とレポート機能の活用について—栄養学、衛生学系等の科目での事例からの検討—」、『FIT2022（第 21 回情報科学技術フォーラム）講演論文集（電子情報通信学会、情報処理学会）』 Vol. 3、125～130 頁	2022. 9
論文（単）	「COVID-19 パンデミックにおける感染予防に配慮した調理実習の教育効果を確保するための検討」（査読付）、『花園大学社会福祉学部研究紀要』、第 31 号、85～101 頁	2023. 3

論文（単）	「関西地区の学校における防災教育の社会意識の変遷—新聞記事の件数による定量的分析—」、『FIT2023（第22回情報科学技術フォーラム）講演論文集（電子情報通信学会、情報処理学会）』Vol.4、131～136頁	2023.8
論文（単）	「感染予防と災害時の避難に対する自治体および学校の対応：予防医学的観点からの検討」（査読付）、『花園大学社会福祉学部研究紀要』、第32号、45～60頁	2024.3
論文（単）	「食育に対する社会意識の変遷について」、『福祉と人間科学（花園大学社会福祉学会）』、第34号、35～46頁	2024.3
研究ノート（単）	「養護教諭を目標として学ぶ学生に対する水質調査の教育的効果」（査読付）、『花園大学社会福祉学部研究紀要』、第27号、85～92頁	2019.3
アブストラクトレフェリー論文（共）	「環境保全に資する家庭用降水貯留水の水質の変化の要因」、『環境経営学会2014年度秋季研究報告大会報告論文（要旨）集（環境経営学会）』、（中村望美、下村優依、西正、荒木大輔、他1名）、11～18頁	2014.11
アブストラクトレフェリー論文（共）	「公衆衛生の観点からの海外の環境水・水道水の化学的危険—ミャンマーにおける日本との経済協力方針変更（2012年4月）前の知見及び雨季のデルタ地帯の水環境事例と、現在の二国間の水道事業協力体制—」、『環境経営学会2015年度秋季研究報告大会報告論文（要旨）集（環境経営学会）』、（他1名）、29～36頁	2015.11
アブストラクトレフェリー論文（共）	「持続可能な社会に役立つリサイクルについて自分たちで出来る取組の提案—循環型社会さらには、持続可能社会への構築へ—」、『環境経営学会2016年度秋季研究報告大会報告論文（要旨）集（環境経営学会）』、（洪江公豪）、14～17頁	2016.11
アブストラクトレフェリー論文（共）	「食育と食品関連企業の社会的責任について」、『環境経営学会2016年度秋季研究報告大会報告論文（要旨）集（環境経営学会）』、（他1名）、18～21頁	2016.11
アブストラクトレフェリー論文（単）	「幼稚園・児童福祉施設等におけるSDGsの取り組み—保育所・幼稚園・児童福祉施設等実習巡回で現場を視察して—」、『環境経営学会2018年度秋季研究報告大会報告論文（要旨）集（環境経営学会）』、33～36頁	2018.10
アブストラクトレフェリー論文（単）	「こども園・幼稚園の経営面における領域「環境」—私立園の広報からの考察—」、『環境経営学会2020年度秋季研究報告大会報告論文（要旨）集（環境経営学会）』24～27頁	2020.11

研究報告（共）	「テキストマイニングによる大学生のエコ活動に対する意識の現状」、『第 26 回地球環境シンポジウム講演集（土木学会）』、（他 1 名）、29～39 頁	2018. 9
研究報告（単）	「保育内容における環境の捉え方」、『第 28 回地球環境シンポジウム講演集（土木学会）』、39～44 頁	2020. 9
研究報告（共）	「領域「環境」と食農保育・食育」、『第 28 回地球環境シンポジウム講演集（土木学会）』、（笹谷絵里）、45～49 頁	2020. 9
研究報告（共）	「「環境教育と食育—「保育 5 領域の環境領域」と「栄養学」との取り組みから—」、『第 29 回地球環境シンポジウム講演集（土木学会）』、（岸本清明）、47-52 頁	2021. 9
研究報告（単）	「大阪府の小・中学校における風水害時の対応に関する基礎的検討」、『第 30 回地球環境シンポジウム講演集（土木学会）』、57-67 頁	2022. 9
研究報告（単）	「大阪市立小学校における防災教育の現状に関する基礎的研究：多次元尺度構成法を用いた教育内容の明確化の試み」、『第 31 回地球環境シンポジウム講演集（土木学会）』、B08_1-B08_6 頁	2023. 9
口頭発表（共）	「粉体固結物としてみた落雁の組織とその特性」、日本家政学会第 37 回大会、（林淳一）、於：東京、昭和女子大学	1985. 6
口頭発表（共）	「野菜ジュースによる亜硝酸の毒性と塩素の消毒作用に関する基礎的研究」、日本家政学会第 60 回大会、（他 1 名）、於：東京、日本女子大学	2008. 5
口頭発表（共）	「野菜ジュースの硝酸性物質による汚染と塩素の抑制効果」、家政学会関西支部第 30 回（通算 86 回）研究発表会、（浦野唯、他 1 名）、於：奈良、畿央大学	2008. 10
口頭発表（共）	「収穫後の保存による野菜中の硝酸性物質生成と塩素による除去に関する実験的研究」、日本家政学会第 61 回大会、（他 1 名）、於：兵庫、武庫川女子大学	2009. 8
口頭発表（共）	「琵琶湖・淀川流域内の硝酸態窒素輸送メカニズム解明に関する研究」、土木学会第 64 回年次学術講演会、（他 1 名、井手健太）、於：福岡、福岡大学	2009. 9
口頭発表（共）	「水道水の窒素汚染についての基礎的研究」、家政学会関西支部第 31 回（通算 87 回）研究発表会、（他 1 名）、於：京都、京都女子大学	2009. 10

口頭発表（共）	「淀川流域の窒素動態解析」、土木学会関西支部 2010 年度年次学術講演会、（六鹿章太、他 1 名）、於：京都、京都大学	2010. 5
口頭発表（共）	「淀川流域の飲料水の水質—窒素汚染について—」、日本家政学会第 62 回大会、（他 1 名）、於：広島、広島大学	2010. 5
口頭発表（共）	「淀川流域における窒素移動に関する研究」、土木学会第 65 回年次学術講演会、（六鹿章太、他 1 名）、於：北海道、北海道大学	2010. 9
口頭発表（共）	「学生の食に関する資格に対する意識について—調理師資格及びフードコーディネーター 3 級資格について—」、家政学会関西支部第 32 回（通算 88 回）研究発表会、（松野陽、他 1 名）、於：兵庫、兵庫県立大学	2010. 10
口頭発表（共）	「琵琶湖・淀川流域における硝酸態窒素移動の解析」、土木学会第 55 回水工学講演会、（六鹿章太、他 1 名）、於：東京、東京大学	2011. 3
口頭発表（共）	「食関連の資格に対する学生の意識—調理師，フードコーディネーター 3 級及び栄養士の資格について—」、日本家政学会第 63 回大会、（松野陽、他 1 名）、於：千葉、和洋女子大学	2011. 5
口頭発表（共）	「淀川流域の水道水・降水量・河川流量の解析」、土木学会関西支部 2011 年度年次学術講演会、（他 1 名）、於：大阪、関西大学	2011. 6
口頭発表（共）	「ミャンマーの水域環境の調査研究」、土木学会第 66 回年次学術講演会、（他 1 名、Kay Thwe Hlaing、宮岡邦任、春山成子）、於：愛媛、愛媛大学	2011. 9
口頭発表（共）	「女子学生の菓子に関する意識調査」、家政学会関西支部第 33 回（通算 89 回）研究発表会、（濱田明美、他 1 名）、於：滋賀、滋賀県立大学	2011. 10
口頭発表（共）	「食分野における学生の進路選択に関する調査」、家政学会関西支部第 33 回（通算 89 回）研究発表会、（松野陽、山本友江、谷口信子、草尾賀子、坂根正史、岡本正隆、他 1 名）、於：滋賀、滋賀県立大学	2011. 10
口頭発表（共）	「調理操作の違いによる農薬除去効果の比較」、日本家政学会第 64 回大会、（宮入遥、他 1 名）、於：大阪、大阪市立大学	2012. 5

口頭発表（共）	「ミャンマーの水環境解析（2010年9月、2011年9月の調査結果）」、土木学会関西支部 2012年度年次学術講演会、（他1名、Kay Thwe Hlaing、宮岡邦任、春山成子）、於：兵庫、神戸市立工業高等専門学校	2012. 6
口頭発表（共）	「ミャンマーの井戸水、水道水の調査研究」、土木学会第67回年次学術講演会、（他1名、Kay Thwe Hlaing、宮岡邦任、春山成子）、於：愛知、名古屋大学	2012. 9
口頭発表（共）	「調理操作及び農薬の種類が農薬除去に及ぼす影響」、家政学会関西支部第34回（通算90回）研究発表会、（宮入遥、他1名）、於：奈良、奈良女子大学	2012. 10
口頭発表（共）	「学生の菓子に関する意識と年中行事で食される菓子について」、家政学会関西支部第34回（通算90回）研究発表会、（松野陽、谷口信子、草尾賀子、濱田明美）、於：奈良、奈良女子大学	2012. 10
口頭発表（共）	「食分野における学生の進路選択に関する調査一前年度との比較一」、家政学会関西支部第34回（通算90回）研究発表会、（松野陽、谷口信子、草尾賀子、岡本正隆、他1名）、於：奈良、奈良女子大学	2012. 10
口頭発表（共）	「三重大学における降水中に含まれるイオン濃度の月変化に関する研究」、平成24年度日本気象学会中部支部研究会、（西正、他1名）、於：愛知、愛知教育大学	2012. 11
口頭発表（共）	「ミャンマーのデルタ地帯の水環境」、土木学会第68回年次学術講演会、（他1名、Kay Thwe Hlaing、宮岡邦任、春山成子）、於：千葉、日本大学	2013. 9
口頭発表（共）	「災害時における非常用の水の水質一水道水と身近で入手可能な湖沼水・河川水・雨水との水質比較一」、家政学会関西支部第35回（通算91回）研究発表会、（中村望美、松野陽、谷口信子、草尾賀子、他1名）、於：大阪、大阪青山大学	2013. 10
口頭発表（共）	「河川水中イオン濃度時系列の確率統計モデル化手法」、第48回日本水環境学会年会、（荒木大輔、齋藤華子、他1名）、於：宮城、東北大学	2014. 3
口頭発表（共）	「ユニバーサルモデルによる水文時空間データのモデル化」、日本地球惑星科学連合2014年大会、（他1名、荒木大輔、齋藤華子、五味千絵子）、於：神奈川、パシフィコ横浜	2014. 5
口頭発表（共）	「降水中成分への気象条件の影響に関する統計的解析手法による検討」、土木学会関西支部 2014年度年次学術講演会、（中村望美、西正、他1名）、於：大阪、大阪産業大学	2014. 5

口頭発表（共）	「湿性沈着の時空間変化における観測的研究」、土木学会第70回年次学術講演会、（中村望美、下村優依、西正、荒木大輔、他1名）、於：大阪、大阪大学	2014. 9
口頭発表（共）	「大気汚染物質濃度と家庭用降水貯留水の水質の関係」、家政学会関西支部第36回（通算92回）研究発表会、（中村望美、下村優依、西正、荒木大輔、他1名）、於：京都、京都聖母女学院短期大学	2014. 10
口頭発表（共）	「環境保全に資する家庭用降水貯留水の水質の変化の要因」、環境経営学会2014年度秋季研究報告大会、（中村望美、下村優依、西正、荒木大輔、他1名）、於：兵庫、神戸山手大学	2014. 11
口頭発表（共）	「フラクタル理論を用いた水道水質時系列データのモデル化」、水文・水資源学会2015年度研究発表会、（他1名、下村優依、荒木大輔、齋藤華子）、於：東京、首都大学東京	2015. 9
口頭発表（共）	「「健康」に関する新聞記事・情報を活用した双方向授業について」、家政学会関西支部第37回（通算93回）研究発表会、（他1名）、於：兵庫、武庫川女子大学	2015. 10
口頭発表（共）	「公衆衛生の観点からの海外の環境水・水道水の化学的危険性—ミャンマーにおける日本との経済協力方針変更（2012年4月）前の知見及び雨季のデルタ地帯の水環境事例と、現在の二国間の水道事業協力体制—」、環境経営学会2015年度秋季研究報告大会、（他1名）、於：兵庫、神戸山手大学	2015. 11
口頭発表（共）	「セラミックスを用いた水中のリン除去技術の検討」、土木学会関西支部2016年度年次学術講演会、（今川貴恵、他1名）、於：滋賀、立命館大学	2016. 6
口頭発表（共）	「「健康」に関する新聞記事を活かした授業展開—学生の属性に合わせた工夫の提案—」、家政学会関西支部第38回（通算94回）研究発表会、（他1名）、於：大阪、大阪松陰女子大学	2016. 10
口頭発表（共）	「持続可能な社会に役立つリサイクルについて自分たちで出来る取組の提案—循環型社会さらには、持続可能社会への構築へ—」、環境経営学会2016年度秋季研究報告大会、（渋江公豪）、於：大阪、関西学院大学梅田キャンパス	2016. 11
口頭発表（共）	「食育と食品関連企業の社会的責任について」、環境経営学会2016年度秋季研究報告大会、（他1名）、於：大阪、関西学院大学梅田キャンパス	2016. 11
口頭発表（共）	「長良川流域における硝酸態窒素の輸送に関する初歩的研究」、日本家政学会第69回大会、（ソン スイカ、他1名）、於：奈良、奈良女子大学	2017. 5

口頭発表（共）	「大学生の自覚的健康度と朝食摂取との関連」、家政学会関西支部第 39 回（通算 95 回）研究発表会、（他 1 名）、於：京都、同志社女子大学	2017. 10
口頭発表（共）	「AMeDAS と d4PDF データを用いた降水量の非定常性と極値に関する考察」、第 62 回水工学講演会、（他 1 名）、於：岡山、岡山大学	2018. 3
口頭発表（単）	「大学生の塩分摂取状況の主成分分析による解析」、日本家政学会第 70 回大会研究発表、於：東京、日本女子大学	2018. 5
口頭発表（共）	「テキストマイニングによる大学生のエコ活動に対する意識の現状」、第 26 回地球環境シンポジウム、（他 1 名）於：長崎、長崎大学	2018. 9
口頭発表（共）	「裾の厚い分布とフラクタル理論を用いた水文データの解析」、水文・水資源学会 2019 年度研究発表会、（他 1 名）、於：三重、三重大学	2018. 9
口頭発表（共）	「四日市の自噴井戸の水質」、水文・水資源学会 2019 年度研究発表会、（浅野匡、大野研、他 1 名）、於：三重、三重大学	2018. 9
口頭発表（単）	「幼稚園・児童福祉施設等における SDGs の取り組み—保育所・幼稚園・児童福祉施設等実習巡回で現場を視察して—」、環境経営学会 2018 年度秋季研究報告大会、於：大阪、大阪産業大学梅田サテライトキャンパス	2018. 10
口頭発表（単）	「災害時の水の備え」、家政学会関西支部第 40 回（通算 96 回）研究発表会、於：奈良、帝塚山大学	2018. 11
口頭発表（共）	「裾の厚い分布とフラクタル理論を用いた水文データの解析」、第 63 回水工学講演会、（他 1 名）、於：北海道、北海道大学	2018. 11
口頭発表（単）	水に関する大学生の意識の水質調査前後の変化-自由記述のテキストマイニングによる分析-、日本家政学会第 71 回大会研究発表、於：徳島、四国大学	2019. 5
口頭発表（共）	「降水貯留水の緊急生活用水への適応性検討」、第 27 回地球環境シンポジウム、（他 1 名）、於：富山、富山国際会議場	2019. 8
口頭発表（共）	「相関係数マトリクスと主成分分析による水道水の硝酸態窒素濃度に対する気温・降水量・河川流量の影響」、第 27 回地球環境シンポジウム講演集、（他 1 名）、於：富山、富山国際会議場	2019. 8



WEB 発表（単）	「安全な水を保持するためにできること—大学生の意識から—」、2020 年度 土木学会関西支部 年次学術講演会、於：WEB	2020. 5
誌上発表（単）	「子ども向けの弁当の献立の絵に登場する食材からみた食育の検討」、日本家政学会第 72 回大会、於：誌上	2020. 5
WEB 発表（単）	「対面授業からオンライン授業への変更における教員及び学生の対応」、電子情報通信学会、情報処理学会、FIT2020（第 19 回情報科学技術フォーラム）、於：zoom	2020. 9
WEB 発表（単）	「「健康」の視点での「水環境」の位置づけ—保健・体育教師を目指す学生の意識—」、土木学会第 75 回年次学術講演会、於：WEB	2020. 9
WEB 発表（単）	「保育内容における環境の捉え方」、第 28 回地球環境シンポジウム、土木学会、於：zoom	2020. 9
WEB 発表（共）	「領域「環境」と食農保育・食育」、第 28 回地球環境シンポジウム、土木学会、（笹谷絵里）、於：zoom	2020. 9
WEB 発表（単）	「こども園・幼稚園の経営面における領域「環境」—私立園の広報からの考察—」、環境経営学会 2020 年度秋季研究報告大会、於：zoom	2020. 11
WEB 発表（単）	「避難訓練についての意識調査—乳幼児・少年・大人の違い—」、2021 年度 土木学会関西支部 年次学術講演会、於：zoom	2021. 5
WEB 発表（単）	「幼児教育のメリット—大阪市と京都市の私立こども園・幼稚園の広報からの考察—」、日本家政学会第 73 回大会、於：zoom	2021. 5
WEB 発表（単）	「新型コロナウイルス（COVID-19）禍におけるオンライン授業や実技を伴う対面授業の工夫—児童栄養学領域と環境学領域に着目して—」、FIT2021（第 20 回情報科学技術フォーラム）、電子情報通信学会、情報処理学会、於：zoom	2021. 8
WEB 発表（単）	「防災・減災につながる児童福祉施設の避難訓練について」、土木学会第 76 回年次学術講演会、於：zoom	2021. 9
WEB 発表（共）	「環境教育と食育 —「保育 5 領域の環境領域」と「栄養学」との取り組みから—」、第 29 回地球環境シンポジウム、土木学会、（岸本清明）、於：zoom	2021. 9
WEB 発表（単）	「微生物除去及び自己免疫を守るための接触感染予防における手洗いの効果の理解について」、情報処理学会第 84 回全国大会、情報処理学会、於：zoom	2022. 3

WEB 発表 (単)	「COVID-19 パンデミックにおける調理実習に関する研究」、日本家政学会第 74 回大会、日本家政学会、於：zoom	2022. 5
口頭発表 (単)	「大阪府の小・中学校における風水害時の対応に関する基礎的検討」、第 30 回地球環境シンポジウム、土木学会、於：札幌、北海道大学	2022. 9
口頭発表 (単)	「LMS の小テスト機能とレポート機能の活用について—栄養学、衛生学系等の科目での事例からの検討—」、FIT2022 (第 21 回情報科学技術フォーラム)、電子情報通信学会、情報処理学会、於：横浜、慶応大学矢上キャンパス	2022. 9
口頭発表 (単)	「予防医学の視点からのコロナ禍における災害時の感染予防対策について—近畿地方の自治体における事例に着目して—」、日本家政学会第 75 回大会、日本家政学会、於：東京、東京家政大学板橋キャンパス	2023. 5
口頭発表 (単)	「関西地区の学校における防災教育の社会意識の変遷—新聞記事の件数による定量的分析—」、FIT2023 (第 22 回情報科学技術フォーラム)、電子情報通信学会、情報処理学会、於：堺、大阪公立大学中百舌鳥キャンパス	2023. 9
口頭発表 (単)	「大阪市立小学校における防災教育の現状に関する基礎的研究：多次元尺度構成法を用いた教育内容の明確化の試み」、第 31 回地球環境シンポジウム、土木学会、於：彦根、滋賀県立大学	2023. 9
口頭発表 (単)	「食育に関する研究の動向—テキストマイニングを用いた文献タイトルに対する分析—」、日本家政学会第 76 回大会、家政学会、於：名古屋、相山女学園大学星ヶ丘キャンパス	2024. 5
ポスター発表 (共)	「野菜ジュースを用いた塩素の亜硝酸生成抑制効果に関する実験的研究」、水文・水資源学会 2008 年度研究発表会、(他 1 名)、於：東京、東京大学	2008. 8
ポスター発表 (共)	「野菜の保存状態と硝酸性物質生成量の関係及び塩素による除去に関する実験的研究」、水文・水資源学会 2009 年度研究発表会、(他 1 名)、於：金沢、石川県文教会館	2009. 8
ポスター発表 (共)	「淀川流域における硝酸態窒素負荷量の年内変動」、水文・水資源学会 2010 年度研究発表会、(六鹿章太、他 1 名)、於：東京、法政大学	2010. 9

ポスター発表 (共)	「三重県津市における湿性降水物の研究」、水文・水資源学会 2011 年度研究発表会、(杉山福来、他 1 名)、於：京都、京都大学	2011. 8
ポスター発表 (共)	「降水に含まれる微量金属に関する観測的研究」、水文・水資源学会 2012 年度研究発表会、(高木奈緒子、他 1 名)、於：広島、(財) 広島市未来都市創造財団広島市西区民文化センター	2012. 9
ポスター発表 (共)	「津市における降水中のイオン成分, 微量金属, Pb/Zn 比について」、水文・水資源学会 2013 年度研究発表会、(西正、高木奈緒子、杉山福来、他 1 名)、於：神戸、神戸大学	2013. 9
ポスター発表 (共)	「降水貯留水の災害時の非常用水としての利用可能性と水質の季節変化」、水文・水資源学会 2014 年度研究発表会、(中村望美、下村優依、西正、荒木大輔、他 1 名)、於：宮崎、KITEN 宮崎	2014. 9
ポスター発表 (共)	「主成分分析による大気汚染物質・気象条件の降水水質への関与の解析」、水文・水資源学会 2015 年度研究発表会、(中村望美、他 1 名)、於：東京、首都大学東京	2015. 9
ポスター発表 (共)	「主成分分析による気温・降水量・流量の水道水の硝酸態窒素濃度への影響の研究」、水文・水資源学会 2016 年度研究発表会、(他 1 名)、於：福島、コラッセ福島	2016. 9
ポスター発表 (共)	「低コストセラミックスを用いた水中のリン除去技術の研究」、水文・水資源学会 2017 年度研究発表会、(久保俊、他 1 名)、於：北見、北見工業大学	2017. 9
ポスター発表 (単)	「養護教諭を目指す学生に対する水質調査の教育的効果」、水文・水資源学会 2018 年度研究発表会、於：三重、三重大学	2018. 9
ポスター発表 (単)	「テキストマイニングによる大学生の水に関する意識の水質測定前後の変化—養護教諭を目指す大学生の事例—」、水文・水資源学会 2019 年度研究発表会、於：千葉、千葉工業大学 津田沼キャンパス	2019. 9
ポスター発表 (共)	「保育活動における幼児の姿 倉橋惣三の幼児に対する環境活動」、対人援助学会第 12 回大会、対人援助学会、(笹谷絵里)、於：WEB	2020. 11
ポスター発表 (単)	「児童福祉施設の避難訓練における防災意識について—児童福祉施設への聞き取り調査から—」、水文・水資源学会／日本水文科学会 2021 年度研究発表会、於：WEB	2021. 9

<p>ポスター発表 (単)</p>	<p>「福祉施設の防災意識について—宇治市の保育所・こども園, 知的障がい者施設の HP 情報からの解析—」、水文・水資源学会／日本水文科学会 2022 年度研究発表会、於：宇治、京都大学黄檗プラザ</p>	<p>2022. 9</p>
<p>ポスター発表 (単)</p>	<p>「「感染のリスク」と「災害時の避難のリスク」に関する対応について：近畿地方の事例研究」、水文・水資源学会／日本水文科学会 2023 年度研究発表会、於：長崎、出島メッセ長崎</p>	<p>2023. 9</p>

---